

健康寿命日本一をめざす

阿賀野市へ！

十一月九日・十日、議員の視察研修が行われました。

この研修には、議員全員と副町長、総務課長、健康福祉課長、教育次長、議会事務局長が同行しました。

―阿賀野市のとりくみ―

新潟県阿賀野市は、冬期に白鳥が飛来する瓢湖（ひょうこ）があることでも有名。人口約四万三千人の街ですが、同じように人口減少が進んでいます。家に閉じこまることもなく、元気な高齢者を増やすことを目標に様々な事業に取り組んでいます。

〈主な施策〉

◎特定検診の受診者をふやす取り組みでは、健康推進員の活動があります。各地域から推薦された現在297名の人が、市長の委嘱を受けて地域と行政の健康増進に関するパイプ役になっています。

◎中学生から生活習慣予防

中学2年生を対象に、血液検査や血圧測定を、新潟大学と連携して行なっています。

◎20歳の健康プレゼント事業

成人式（五月三・四日）の前日と当日に健診を行ない、中学生で健診を受けた人が、20歳を迎え、自分の生活習慣がどのように影響するか理解し健康意識を高めることを目的としています。

◎その他。水中運動教室、食生活改善の推進、買い物ポイントと行政の健康づくりやボランティア活動を通じてもらうポイントが一緒になったポイントカードの発行など創意工夫された取り組みが行政と市民の協働で行なわれています。



阿賀野市 イメージキャラクター
「ごずっちょ」

―見附市における

空き家対策―

空き家問題は、倒壊のおそれや治安の悪化が心配されています。見附市は積雪で空き家の危険度が増え、倒壊するケースが相次いでいることから、空き家等の市条例を制定しました。その中で、市の支援として解体費用の補助や更地にすることで生じる急激な税負担増への配慮として、固定資産税、都市計画税を減免する支援をしています。

皆野町も、空き家調査の第一次

調査が終了、さらに、第二次調査を行ない空き家と認められるか判断を行ないます。

二つの視察を通じ、どう町のとりくみに生かせるか考えていきたいと思えます。（常山 知子）



皆野町消防特別点検

十一月十三日（日）午前8時から、皆野町民運動公園において、消防団特別点検が行われました。団員一五〇名が参加し、日頃の訓練を発表しました。各分団の代表で競う消防操法競技会の結果は次のとおりです。

―消防操法競技会

成績優秀隊表彰―

優勝 第1分団第1部
準優勝 第1分団第2部

―消防操法競技会成績優秀

隊員表彰（敬称略）―

指揮者（第1分団第1部）門平 智幸
一番員（第1分団第1部）守屋 雅士
二番員（第4分団）持田 賢史
二番員（第1分団第2部）小笠原 功夫
三番員（第1分団第2部）佐々木 賢太
四番員（第1分団第2部）嶋田 政則
（公財）埼玉消防協会表彰（三五名）
埼玉消防協会秩父支部表彰（二〇名）
皆野町表彰（九名）

